

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名	ブックスタート事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会	課長名 高木 敏明		
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	生涯学習課	担当者名 末永 舞		
	基本事業	60	相談支援体制の充実	所属班	図書館班	(内線) 2512		
予算科目	会計	1	10	5	8	事業連番 10610	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 8 コスト削減優先度評価結果 6*14
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 14 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】 ・ブックスタートとは、0歳児の赤ちゃんとその保護者が絵本を使って対話し、親密で温かなふれあいの時間を持ってもらうことを目的とし、またその後の子育てにおいて、絵本を通じて子どもの創造性やこころの成長を育んでいくことを促進する事業です。 【業務の流れ】 ・毎月1回の乳児健診(7ヶ月児)時に、図書館の職員が子どもの心を育む本との関わりを説明し、2冊の絵本が入ったブックスタートパックを手渡している。 ・年間分の絵本パックの購入、人数を把握して配布の準備、市内2ヶ所の健診場所で配布の準備、配布 【主な予算費目】報酬(非常勤職員の手当)、需用費(消耗品費・絵本の購入費)、パンフレット用紙代、燃料費等								

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 7ヶ月健診時に絵本の配布と読み聞かせの指導を行った。 ブックスタートに使用する絵本の統一を図った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 「20年度と同じ」
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア ブックスタートパック配布数 件 ⇒ イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 0歳児とその保護者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 出生者数 人 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 絵本を通じて保護者と赤ちゃんの対話のきっかけとしてもらう	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 図書館での絵本の貸出冊数 冊 ⇒ イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 子育ての不安を解消できる	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 相談件数 件 ⇒ イ ファミサボ利用件数 件

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	1,130	972	926	924	1,071	1,088	1,105	
	(A) 事業費計	千円	1,130	972	926	924	1,071	1,088	1,105	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	180	180	180	180	180	180		
	(B)人件費計	千円	715	716	716	716	716	716		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,845	1,688	1,642	1,640	1,787	1,804	1,821	
	活動指標	ア イ 件	600	587	600	588	630	640	650	
	対象指標	ア イ 人	600	587	600	588	630	640	650	
	成果指標	ア イ 冊	98323	90319	93000	100771	94000	94500	95000	
	上位成果指標	ア イ 件	2889	3590	2900	2468	2800	2700	2400	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
・旧西合志町では平成13年度、議員の一般質問をきっかけに平成14年度より開始
・旧合志町では、平成13年度に絵本を配布するのではなく、保護者に絵本の紹介から開始。平成14年度より予算がつき進捗を開始。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・最近、家庭内での虐待、核家族化の進行などで子育ての悩みなど保護者と子どもとの対話、子育てそのものができていない状況が顕著になってきている。
・開始時期は事業の実施自治体が少なかったが、現在では多くの自治体で実施しており事業の浸透が図られている。
・旧西合志町については、3ヶ月健診時から7ヶ月健診時に配布時期を変更した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・保護者から、2人目、3人目の子どもに対して1人目と同じ絵本を配布する時があるので、違った絵本にして欲しいという要望がある。
・配布時に、保護者からは喜んでいただいている。

事務事業名	ブックスタート事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ・「絵本を通じて保護者と赤ちゃんとの対話のきっかけとしてもらう」ことで子どもと接することができるようになり、「子育てに対する悩みを解消する」ことに役立っている
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ・合志市が子育て日本一を目指しており、こころの成長を育む取り組みが重要であり、絵本を買う家庭や、絵本を活用したいという家庭だけでなく、全ての子育て家庭で取り組んで対話を促進してもらうことは必要だと考え実施しているので、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ・現在は0歳児を対象とした事業であるため、適切である。 ・意図も現状で適切である。
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ ・絵本を通じた対話をさらに進めてもらう余地がある。 ・おはなし会の時などに、同年代の子どもを持つ親同士の語らいの場を設ける等子育ての悩みの解消を図る。 ・2～3歳児への事業を行うことにより、更なる浸透と親のためのサポートを行う。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ・読み聞かせのきっかけがなくなるので、影響がある。 ・実施対象者のうち約半数が、図書館があるのを知らずにいるため、事業廃止・休止に伴う影響は大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ ・対象者のすべてに絵本を配布し、その効能・意義を伝えることのできる事業は他にない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
有効性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・需用費(消耗品費:絵本の購入費)については、現在は特定非営利活動法人(NPO)により定価の半分程度の価格で絵本を購入しており、寄付等が行われな限り削減の余地はない。 ・報酬(非常勤職員の手当て)については、完全にカットできるわけではないが、ボランティアなどできるだけ市民
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・健診の際、次の検査の待ち時間などを利用して効率よく絵本を配布すれば、多少の時間短縮の余地はある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ ・受益者は0歳児と保護者に限られるが、子育て支援の重要な施策であり、事業費についても必要最低限で行っている。。また、受益者負担で行う性格の事業ではない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、1回限りではなく継続してサポートできる体制をつくことで、成果の向上が図られる。 ③効率性については、ボランティアなどの力を借りることで、効果が見込める。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・絵本の選定を定期的に替えていくなど、効果を高めるために検討していく。 ・本との関わりをさらに深めてもらうために、お話し会などで読み聞かせの実態の把握や、2～3歳児向けの事業など、現事業のサポートを検討していく。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・健診時の調整や、子育てに関する事業の調整などで、健康づくり推進課、子育て支援課との連携を行う必要がある。																							

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)